



2018年10月29日

各 位

会 社 名 株式会社モスフードサービス
 代表者名 代表取締役社長 中村 栄輔
 (コード：8153 東証第1部)
 問合せ先責任者 常務取締役執行役員
 経営サポート本部長 福島 竜平
 (TEL. 03-5487-7371)

特別損失の計上、業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、8月に当社が展開するモスバーガーの2店舗で発生しました食中毒事故に伴うフランチャイズ（以下、FC）加盟店に対する営業補償の実施を本日開催の取締役会において決議し、それによる特別損失の計上が見込まれます。また、2018年5月11日に開示した2019年3月期第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）および通期（2018年4月1日～2019年3月31日）業績予想につきましても、下記の通り修正することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の内容

8月に当社が展開するモスバーガーの2店舗で発生しました食中毒事故の影響によるFC加盟店の収益減少を補填するための営業補償の実施を本日の取締役会で決議いたしました。これに伴いまして、2019年3月期第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）におきまして、FC営業補償引当金繰入額961百万円を特別損失に計上する見込みです。

2. 連結業績予想の修正について

2019年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正

(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	36,000	2,350	2,450	1,560	50円61銭
今回修正予想 (B)	33,000	900	1,000	△120	△3円89銭
増減額 (B-A)	△3,000	△1,450	△1,450	△1,680	
増減率 (%)	△8.3	△61.7	△59.2	—	
(参考) 前期実績 (2018年3月期 第2四半期)	35,926	2,324	2,447	1,554	50円43銭

2019年3月期通期の連結業績予想数値の修正

(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	72,000	3,800	3,950	2,500	81円10銭
今回修正予想 (B)	66,000	400	500	△800	△25円95銭
増減額 (B-A)	△6,000	△3,400	△3,450	△3,300	
増減率 (%)	△8.3	△89.5	△87.3	—	
(参考) 前期実績 (2018年3月期)	71,387	3,736	3,913	2,470	80円14銭

3. 業績予想の修正の理由

〈第2四半期累計期間〉

当社は全国キャンペーンを積極的に展開し売上の計画達成を目指しておりましたが、期初より既存店売上高が前年に届いていない中、地震・台風・猛暑などの自然災害の影響、および8月にモスバーガーの2店舗で発生しました食中毒事故の影響により、売上高におきまして前回予想を下回る見込みとなりました。また、利益につきましても、売上高減少による売上総利益の減少および食中毒事故に伴うFC加盟店に対する営業補償により、前回予想を下回る見込みとなりました。

〈通期〉

通期におきましても、先般の食中毒事故の影響で売上高の減少が予想される中、販売管理費の削減に努める一方で、お客様の当社の商品に対する信頼を回復するため、衛生に関する教育の強化を行う他、売上回復のための戦略的な施策を最優先で行っていくことによるプロモーション費用の増加等が見込まれます。さらに、今後の継続的な成長のためには、先般の食中毒事故以前からの売上、客数の減少に対してより根本的な対策と施策が必要であると考えており、その立案、実行をして参ります。

以上の費用を見込んだ結果、期初に設定した連結業績予想を下回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたします。施策の内容、進捗につきましては、今後しかるべきタイミングでお知らせいたします。

なお、当社は業績や経営環境との連動を図りつつ安定的な利益還元を維持することを基本方針としておりますので、第2四半期末配当金および期末配当金につきましては、前回予想のとおり1株につき14円ずつ、通期で28円を予定しております。

以 上

※ 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は予想数値と異なる場合があります。